

【実施概要】

■ 目的

人中心の居心地の良いまちなか形成に向けて、メインストリートを景観面から魅力的にしていこう取組み「茨木みちクルプロジェクト」の一環として、沿道事業者等の機運を醸成し、道路空間の利活用等を検証することを目的に実施

■ 実施概要

日程：2023年11月25日（土）～11月26日（日）の2日間（文化・子育て複合施設「おにクル」開館にあわせて実施）／主催：茨木市、趣旨に賛同する沿道事業者等／場所：中央通り JR駅前商店街前の側道（南側）

- ・側道部分を車両通行止めし、木製デッキや人工芝を敷設することによりゆとりある空間を創出。①沿道事業者等による飲食・物販の出店、②昼は子どもが楽しめる場づくり、夜はナイトバルなど2つのシーンで多様な利活用が生まれる仕掛け、③プランターや暖色系ランプによる魅力ある景観の演出等を実施
- ・加えて、社会実験実施日より前に、沿道事業者等が興味・関心のあるDIY企画「アーケードの柱の塗り替え」を実施



①沿道事業者等による飲食・物販の出店

歩道拡幅後をイメージしたゆとりある空間にて、飲食・物販の出店や休憩空間を創出
・屋台での飲食物・物販の販売、・イス、テーブルの設置、・沿道事業者等による飾りつけ等



②（昼）子どもが楽しめる場づくり

子どもが楽しめる仕掛け
・遊具MOPPS（大型遊具）の設置
・大道芸人によるパフォーマンスの実施



（夜）ナイトバル

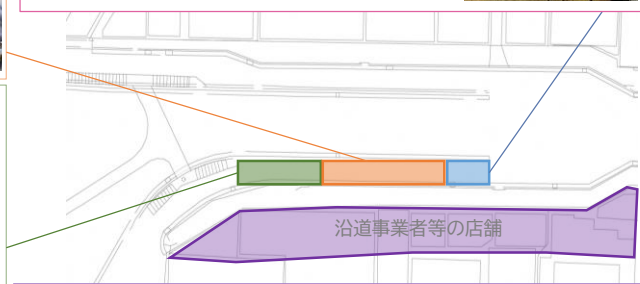
大人がゆったりと夜を楽しめる空間の創出
・バーカウンターの設置
・イス、テーブルの設置



③プランターや暖色系ランプによる魅力ある景観の演出

彩りある魅力的な滞在空間を創出

- ・プランターの設置
- ・暖色系ランプの設置



沿道事業者等との連携

- ・テイクアウトメニューの販売
- ・営業時間の変更・拡充
- ・店先での出店
- ・植栽に関するアドバイス 等

通りの将来イメージや協力事業者等の紹介

通りの将来イメージや協力事業者等の店舗を紹介
・案内看板の設置



DIY企画「アーケードの柱の塗り替え」

まちづくりに対する積極的な関わりを促進するため、DIYまちづくり団体の協力を得て、沿道事業者等が興味・関心のあるアーケードの柱の塗り替えを沿道事業者等とともに実施



〔実施日：2023年11月14日
参加事業者等：4店舗〕



店舗名/連携事業内容	協力内容
たこ焼きあちや （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	25日13:00～21:30 営業 26日10:00～18:00 営業
STOMP （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	25日・26日 外観12:00～15:00+連携営業
四季の縁 一 番 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	営業時間中テイクアウトメニュー販売
BAR TANAHASHI （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	25日・26日（R）12:00～17:00 協賛（R）17:00～21:00 協賛
新鋭い石川屋 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	営業時間中テイクアウトメニュー販売
BAR 麗空 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	営業時間中テイクアウトメニュー販売
Came's Bar カメちゃんのお店 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	25日・26日（R）14:00～17:00 プース出店
つかはら花壇 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	実験エリア内の植物は、つかはら花壇さんより購入（植物のアドバイス）
すばいにきいあplants （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	営業時間中テイクアウトメニュー販売
スペインバル ハボロコ （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	営業時間中テイクアウトメニュー販売
洋風料理屋 焼肉屋 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	25日・26日（R）11:00～17:00 プース出店
玉屋餅店 （R）10:00～14:00（R）17:00～21:00（R）22:00	

【検証結果】

■ 全体のまとめ

- ・今回の社会実験の目的であった「沿道事業者等の機運醸成」「道路空間の利活用等に関する検証」については、高評価を得ることができた。
- ・「沿道事業者等の機運醸成」については、昨年度の社会実験と比較し、より粘り強く話し合いを重ねたことにより、関心をもって協力してもらうことができ、沿道事業者等から高い評価を得ることができた。
今後、社会実験をきっかけにして生まれた事業者同士のつながりやネットワークを活かして、沿道事業者等の主体的なまちづくりにつなげていくことが期待できる。
- ・「道路の利活用等に関する検証」については、ストリートデザインガイドラインに沿った将来形を暫定的に示し、道路空間でできることの可能性を提示でき、来訪者・沿道事業者等から高い評価を得ることができた。
今後、ガイドラインに沿った道路空間等の更なる利活用、将来の整備に向けた動きへとつなげていくことが期待できる。
- ・一方課題として、アンケート結果から「事業の周知が不足していること」「沿道事業者の主体的な参画を促進していく必要があること」が挙げられる。

■ 目的ごと検証結果

目的1

沿道事業者等の機運醸成

- ・人中心の居心地の良いまちなか形成に向けて、まちづくりに対する沿道事業者等の積極的な関わりを促進する。
- ・道路空間を使いこなす仕組みづくりなども見据え、沿道事業者等のやってみたいことの実践を支援する。

● 沿道事業者等の関わりについて

- ・社会実験企画当初は、沿道事業者等の参画意欲もほとんどない状態であったが、沿道事業者等の店舗へ訪問し、対話を重ねることで、徐々に前向きな姿勢に転じる事業者が増加した。
- ・社会実験当日は、道路空間での出店やテイクアウトの販売等に協力を頂き、沿道事業者等の90%が「社会実験に参加してよかった」と高評価であった。
- ・来訪者アンケートにおいて「沿道のお店による賑わいづくり」、「社会実験に参加いただいたこと」ともに「とても良い、良い」が96%と高評価であった。
- ・少数ではあるが、「今後も継続した話し合い等を行っていきたい」等の前向きな意向を確認することができた。
- ・SNSのオープンチャットを作成し、市と沿道事業者等によるネットワークができた。
- ・一方で、話し合いの場への積極的な参画意向は、20%に留まっている。

● 沿道事業者等のやってみたいことについて

- ・社会実験当日に、手作りお菓子の販売や営業時間外の営業等、一部協力を依頼した部分もあるが、沿道事業者からの提案や創意工夫により、実施された内容もあった。
- ・沿道事業者等の興味・関心のあるDIY企画「アーケードの柱の塗り替え（DIYまちづくり団体LocacoProject協力）」を通して、沿道事業者等がまちづくりに対する興味を深めることができた。

⇒まちづくりに対する沿道事業者等の積極的な関わりへの促進は道半ばであり、沿道事業者等（店舗経営者・土地建物のオーナー等）の機運の醸成やプレーヤーの発掘を、継続して取組む必要がある。

目的2

道路空間の利活用等に関する検証

- ・歩道拡幅後をイメージしたゆとりある空間を設け、利活用の幅を広げる。
- ・魅力ある景観を創出し、将来像への賛同を得る。

● 道路空間の利活用等について

- ・木製デッキや人工芝を敷設することで、歩道空間が拡幅した姿を可視化することができ、多くの方に利用していただくことができた。
- ・来訪者アンケートにおいて「メインストリートに滞在・利活用できる空間が増えたこと」は「とても良い、良い」が95%と高評価であった。
- ・子育て世代からは、「小さい子連れだと入店しづらいお店もあるので、テイクアウトして外のテラスで食べられるのが嬉しい」「子どもが遊べる遊具があるのが滞在しやすくてよい」「カフェテーブルと隣接しているので、子どもを視界に入れながらのんびりできる」などの好意的な評価を把握できた。
- ・上記により、まちなかでの滞留空間へのニーズと道路空間のポテンシャルを確認することができた。
- ・車両の通行止め、自転車の押し歩きなどの交通面での規制を行ったが、交通面について問題なく終了することができた。

⇒歩道空間を拡幅し滞在空間化することで、来訪者の満足度やまちの価値を高めることができた。

■ 昨年度社会実験との比較

- ・来訪者アンケートにおいて「メインストリートに滞在・利活用できる空間が増えたこと」への評価は、昨年度の72%から今年度の95%と大きく伸ばすことができたことから、昨年度より効果的に可視化することができた。
- ・沿道事業者等から「社会実験を実施してよかった」という回答が、昨年度の56%から今年度90%と大きく伸ばすことができたことから、昨年度より高評価をいただくことができた。

⇒昨年度と比較し、効果的に可視化でき、沿道事業者等からも高評価を得ることができた。

■ 今後に向けて

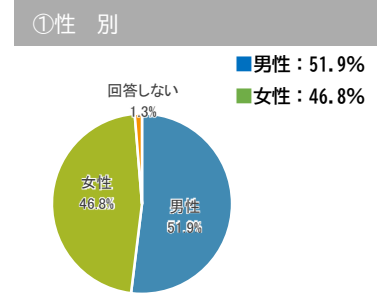
- ・魅力的な通りの指針となるストリートデザインガイドラインの周知（ビジョンの共有）
- ・人中心の居心地の良いまちなか形成に向けて、2年間の社会実験をきっかけにして生まれた沿道事業者等とのつながりを活かしながら、沿道事業者等の興味・関心のあることから小さな変化を起こし、段階的に活動や人のつながりを広げる取組みを展開しつつ、道路空間の利活用についても、引き続き官民連携により取組みを推進する。



今後の取組み案のイメージ

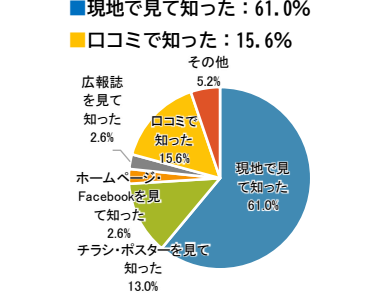
【来訪者アンケート調査結果】

■ 来訪者 回答者属性 (N=77)

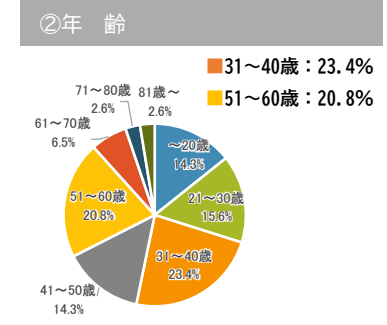
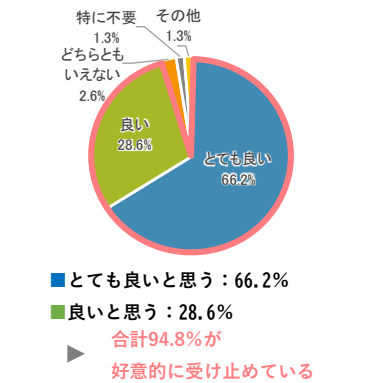


■ 社会実験について (N=77)

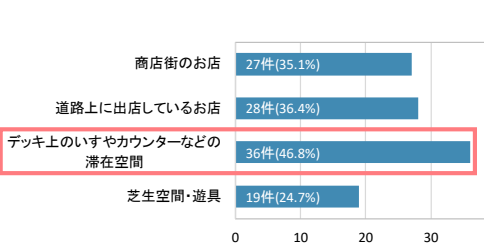
⑥今回の社会実験「みちリノ」を、
何で知りましたか？



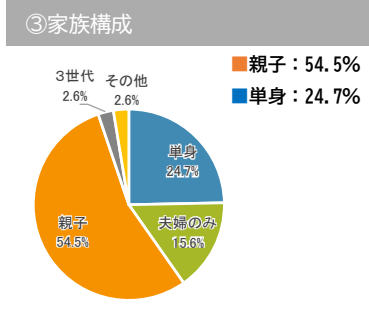
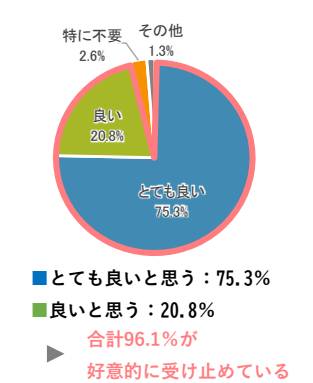
⑩メインストリートに滞在・利活用
できる空間が増えたことについて



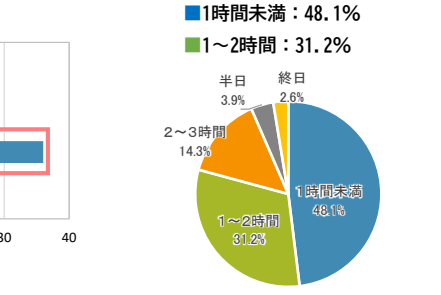
⑦どの場所を利用しましたか？／利用する予
定ですか？（複数回答）



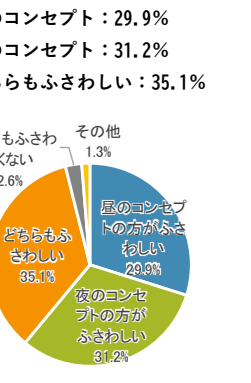
⑪沿道の店舗やオーナーが、社会実
験に参画・協力したことについて



⑧本日はまちなかでどのくらいの
時間を過ごす予定ですか？

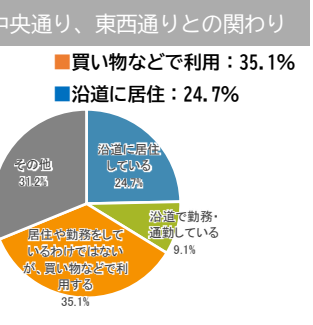


⑫社会実験の昼と夜のコンセプト
について

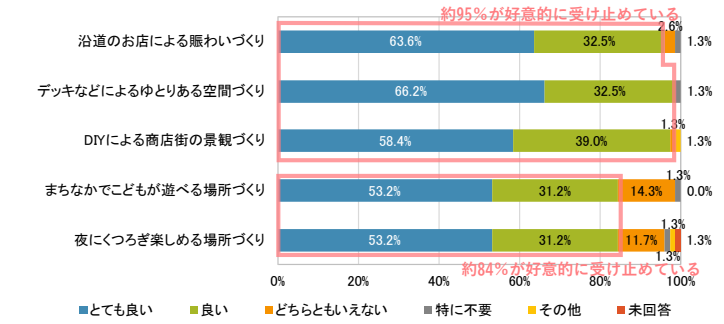


⑬自由意見（一部抜粋）

○街中でくつろげる場所があるのはうれしい。
○ただ座る場所があるだけでなく、お店のテイクアウトや屋台があったので楽しく過ごせた。
○街の活性化にとても寄与すると思う。商店街が活性化するときかけになり良いと思う。
○街の雰囲気が明るくなりとても良いと思いました。街中で子供が遊べるのは人の目もあり、防犯の観点でもとても魅力だと思うのですが、車の通りに面しているのは少し心配に思います。
○小さい子連れ(ベビーカー)だと入店しづらいお店もあるので、テイクアウトして外のテラスで食べることができるととても嬉しいです。
△沿道のお店等が協力するというか、主催して動けるよう、行政が積極的にサポートして欲しい。沿道の活性化は店の利点になるので、自ら積極的に行おうとする人達の阻害要因を法令面等で取り除いていくことが大事だと考える。
△街が汚れないか、参加する人のマナーについてもフォローすべき。
△道路のそばすぎて車と接触したり子供が飛び出してしまうたりしてしまわないかが不安である。
△子供の遊び場とそれを見守りながら大人がゆっくりコーヒーを飲みながらくつろげる空間を増やして欲しい。



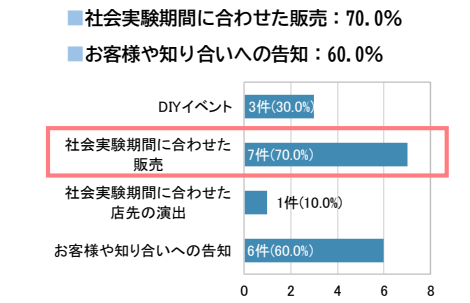
⑨社会実験で検証した取組みについて



【沿道事業者等アンケート調査結果】

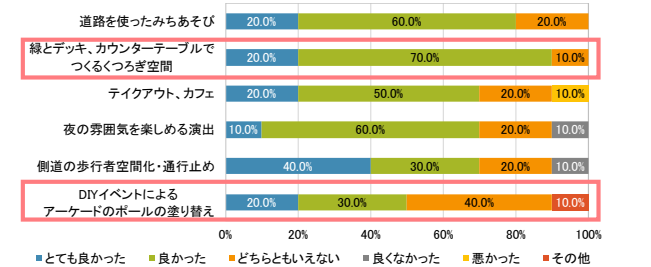
■ 社会実験全般について（N=10）

①ご協力いただいた内容



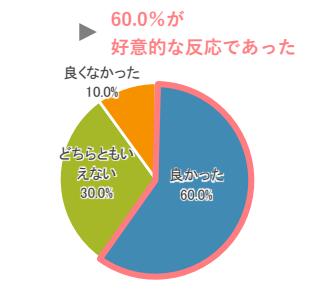
②内容についての評価

緑とデッキによるくつろぎ空間は**良かったが90.0%**を占めた。
DIYイベントは、他よりも比較的低いものの、**良かったが50.0%**と半数を占めた。



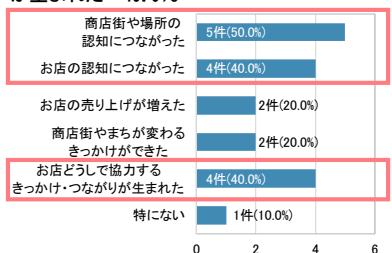
③店舗利用者の反応

- 良かった：60.0%
- どちらともいえない：30.0%
- 良くなかった：10.0%



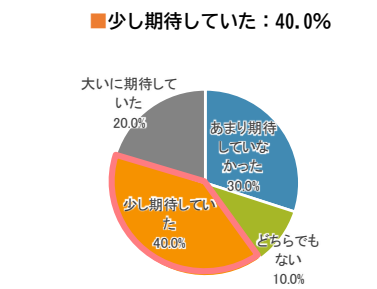
④社会実験でプラスになったこと

- 商店街や場所の認知につながった：50.0%
- お店の認知につながった：40.0%
- お店どうして協力するきっかけ・つながりが生まれた：40.0%

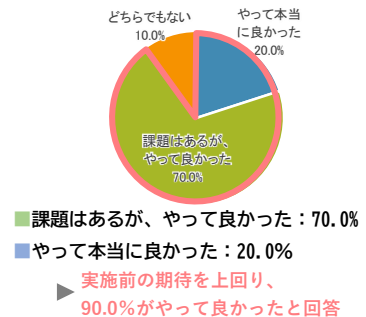


■ 今後のストリートデザインに向けて（N=10）

⑤今回の社会実験にどの程度期待していましたか？

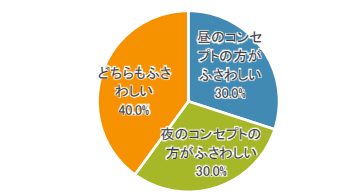


⑥社会実験を経て、どう思われましたか？

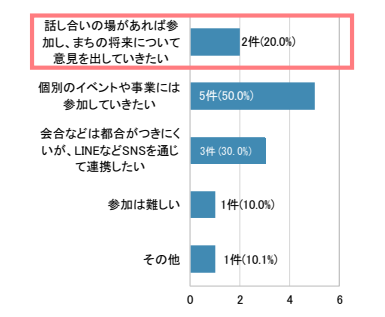


⑧社会実験の昼と夜のコンセプトについて

- 昼のコンセプト：30.0%
- 夜のコンセプト：30.0%
- どちらもふさわしい：40.0%



⑩沿道の皆さんと魅力的な沿道形成や活性化の取組みを話し合っていければと考えています。どのような形であれば、参加できそうですか？



- 個別のイベントや事業には参加していきたい：50.0%
- 会合などは都合がつきにくい、LINEなどSNSを通じて連携したい：30.0%
- 話し合いの場があれば参加し、まちの将来について意見を出していきたい：20.0%

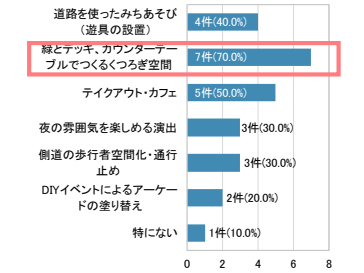
話し合いの場への参画について、「話し合いの場があれば参加し、まちの将来について意見を出していきたい」といった積極的な回答は20%に留まっている。

⑦その理由

○お店の認知に多少は繋がった。人通りの違いが分かった。
○初めてであったため、色々と思うようにならない事があったかもしれないが、このイベントは可能性がある。続けていくことでしか答えは出ない。応援したい。
○商店街が盛り上がった。
△周知が不足していたように感じました。通る人から「何かやってる」と、何度が聞こえました。
△段取り等含めて課題が多い。
△天候にもよるし、暖かい季節にやったほうがいい。
△隣の道路の車がうるさく気になると意見を貰った。環境が良く無いので、利用して貰うのではなく、必然的に利用させる考え方が必要ではないのか。認知度が少し低い。

⑨今後も継続したいコンテンツ

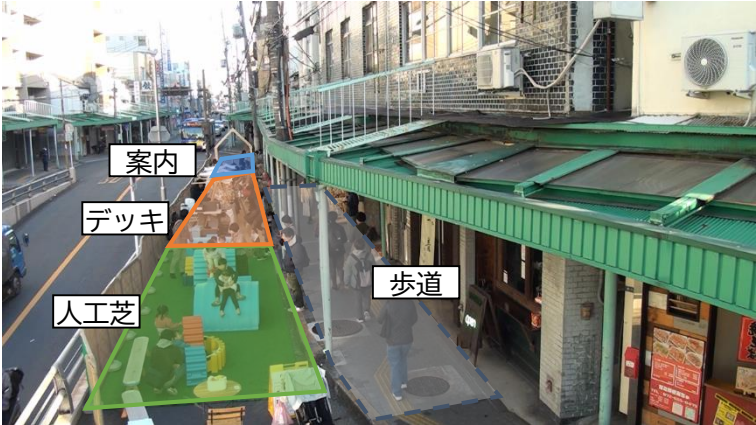
緑とデッキ、カウンターテーブルでつくるくつろぎ空間が**70.0%**を占めた。



⑪自由意見

○再度イベントの企画お願いしたいです。
○今回は今回で私はとても楽しかったです。ありがとうございます。
○昨年度の社会実験に比較して、商店街の方々も協力し合え、またとても盛り上がり、とても良かったと思う。
△何をターゲットにしてやっているかをもう少し明確にして実施した方がいいと思う。
△商店会として何か1つ出し物を提供できれば、商店会として、横のつながりができるかと思います。
△地域の市民の認知度が大切。ある意味これしかない。
△来年度以降どのように取組みを進めていくかも含めて、市民等、色々な人に聴取するべきであると思う。市の方だけで考えるのもなかなか難しそう。

【利活用状況調査結果】



※「歩道」は、通過だけの歩行者・自転車は集計していない。立ち止まる、眺めるなど、何らかの行動があった人のみ集計。
※2日目11月26日（日）の夜に関してはビデオカメラのデータ破損により集計していない。

■ 調査方法

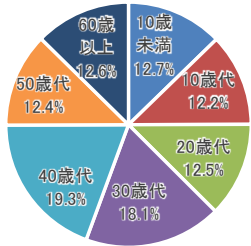
- ・ビデオカメラで歩道橋上から東側に向けて実施場所を撮影。記録動画を確認して集計。
- ・同一人物で複数の活動があった人は、最も時間が長かった活動を集計。

■ 調査結果

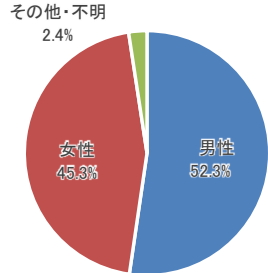
- ・全体で1,000人弱の利用が見られた。エリアとしては歩道を除いては人工芝が3割、デッキが1割強の利用があった。
- ・実施期間全体の年齢をみると、40歳代、30歳代が最も多いが、それ以外は大きな差はなく、広く様々な世代の利用がみられた。
- ・1日目の昼と夜を比較すると、昼は遊具を利用する10歳未満とそれを見守る30歳代40歳代が多く、夜は利用人数としては10～20歳代、40歳代が多く、「会話」や「スマホを触る」などの滞在は20歳代、40歳代が多くみられた。
- ・2日目はおにクルオープンの日であったこともあり、全年齢で1日目より多くの利用があった。

■ 利用者属性（実施期間全体：N=997）

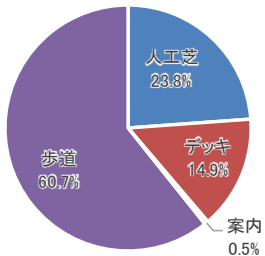
年 齢



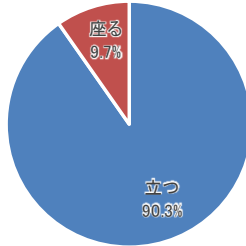
性 別



エリア



立つ/座る



飲食の有無

